



桃一通信

No. 6 6 4

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和4年 5月号



本をたくさん読もう

校長 高橋 浩平

新緑がまぶしい季節になってきました。保護者の皆様には、お忙しい中、年度当初の保護者会へのご参加ありがとうございました。

さて、子どもたちには「かしこい人になろう」という話をよくしています。「かしこい人になろう」とは①考える人になろう②家で勉強できる人になろう③本をたくさん読もう④体を動かそう、の4つだよ、という説明をしています。

その中の③本をたくさん読もう、について今回は話題にしたいと思います。

本校では、先生方が組織する学校図書館運営委員会を中心に、読書活動を進めています。学校図書館全体計画では、「児童の読書に親しもうとする態度を養う。」「読書活動を通じて、豊かな言語表現力を育む。」「多様な資料から目的に応じた情報を選ぶことができる情報能力を育む。」ことを目標にしています。児童の図書委員会での活動や図書ボランティアの皆さんの活動、読みきかせボランティア、ルフランさんの活動も読書活動の充実に欠かせないものです。また、今年度は朝、本を読む時間を固定して、コンスタントに読む時間を確保していくことにしました。

実は若者の「活字離れ」は今に始まったことではなく、30年前から言われています。ですから今の大人た

ちでもほとんど本を読まない、という人がいます。新聞も読まず、主にネットで情報を仕入れる、といった生活スタイルが多くなったようです。

しかし、学校では、改めて読書の楽しさを子どもたちに伝えていきたいと思っています。学力と読書の相関関係は昔からよく指摘されることです。「小学生から高校生までの10年間での読書活動が成人以降の意識・非認知能力の高低に影響がある」という研究も出ています。

もし、活字を読むことが辛いなら、絵本から始めてみてはどうでしょうか。実は、ささやかながら、毎週の全校朝会で「本の紹介」をやっていました。学校司書の先生が図書室に「校長先生の本のコーナー」を作ってくれて、紹介をしてくれました。子どもたちもよく読んでくれているようです。

今年度は、「作者紹介」ということで、作者を中心に本の紹介をしています。1回目は私も大好きな「五味太郎」さん、2回目は最近よく読まれている「ヨシタケシセイ」さん、3回目は詩人の「谷川俊太郎」さんを取り上げました。その作者の作品について3冊を紹介することにしています。今のところ、年間に37回全校朝会がとれる予定ですから、100冊以上は紹介できるかなと思っています。

本校には学年ごとに「読んでみよう〇年生」という読書リストもあります。昨年度は6年間、リストを全制覇した人もいました。桃一小の子どもたちが、「読書好き」になるよう、これからも支援していきたいと思っています。

特別支援の取り組み

杉並区では、区内のすべての小中学校に特別支援教室が設置されています。桃一小では、平成30年度に特別支援教室「ももいち教室」が始まり、今年度で5年目を迎えます。

ももいち教室では、一人一人の子供たちが安心して学校で学び、生活していくための活動を行っています。特に、クラスで皆と一緒に学ぶために必要なコミュニケーションスキルを高める活動を少人数で行い、その都度個別にフィードバックを重ねています。ももいち教室を担当する先生方は、三谷小学校を拠点校として、週に4日、桃一小に巡回指導として来校しています。

また、ももいち教室に通う子供たちに限らず、桃一小のすべての子供たちが、安心して学校生活を送れるように、一人一人の子供たちや、クラス全体をサポートすることができるよう、学習支援教員の先生、学級支援員の先生、ボランティアの方がいます。こうした、校内の特別支援教育を支える体制として校内支援委員会があり、学校全体で、子供たちの成長を見守っています。

交通安全指導教室について

1 年生 交通安全教室

4月19日(火曜日)の2・3時間目に1年生を対象に交通安全教室を行いました。荻窪警察署の方を招いて、交通標識の確認や、横断歩道の渡り方などの学習をしました。実際に簡易の横断歩道と信号を使って歩行訓練をし、子供たちは約束事を守って取り組むことができました。

登校時や下校時のみならず、様々な場面でこの日学んだことを生かせるようになってほしいです。



4 年生 自転車安全教室

前日の雨天が嘘のように晴れ、自転車安全教室を開催することができました。荻窪警察署・杉並区都市整備部の皆さんの協力のもと、自転車の実技を交え、交通ルールやマナーを学びました。また、自転車の点検や各ポイントでの声掛けなども、保護者・地域の方にご協力をいただきました。

4年生からは実技後、「一時停止や安全確認をする場所がたくさんあった。」「一本道やジグザグの所は、操作するのが難しかった。」などの感想が聞かれました。

学習後には、自転車の免許をいただき、これからの安全運転に対する意識が高まった1日となりました。

